



## ～きらめき介護塾の取り組み～

(社)きらめき認知症トレーナー協会 理事  
きらめき介護塾 取締役 服部茂幸

介護事業リスクコンサルティングを専門に扱う保険代理店、ハットリアンドアソシエイツの代表取締役。ハワイでリスクコンサルティングを学び、近年上昇傾向にある介護事故を抑制するための研修を全国で行う。まごころ本舗ティサービス代表。

## 第3回 介護経験を地域に伝える

## 病気の進行を遅らせる方法

「1日も早く、1人でも多く、全国に伝えたい！」

という思いのもと、全国できらめき認知症トレーナー192名、きらめき認知症シスター403名、ファミリー1672名が今日も活躍し、フレンズは4万7363名(受講者)に達しています。(12月4日現在)

今回伝えたいことは、「認知症の『人の気持ち』を思いを理解してかかわる」ということです。今こうしてこの原稿を書いている間にも、皆様がこの記事を読んでいたいただいているの間

にも、全国で認知症に苦しみながら生活する人や認知症の人を支える事に悩める日々を送っている家族がいます。

きらめき介護塾では「かわり方」によって認知症の進行を遅らせる事ができると信じています。あなたの「かわり」が、薬に負けることも劣らない力を持っているなんて素晴らしいと思いませんか。もちろん薬も大切ですが、でもそれ以上に愛する家族や友人・知人にはあなたの「かわり」が大切なのです。

病気を治す事よりも、病気の進行を遅らせる方がより良い人生だと考えていま

## 介護Biz

## 認知症の正しい理解とかかわり方

す。しかし今現在、認知症の初期症状に早期に気付く事は大変難しい事とも考えられています。それは、「かわり」を学ぶ機会が無いために、多くの人がその機会を失っているのです。

もし、一緒に暮らす家族や身近な友人・知人が、認知症への知識を正しく理解して、一番近くにいる大切な人から発せられる「小さなシグナル」を見落とさずに感じる事ができ、適切な「かわり」ができれば、年相応の物忘れ程度で自立した生活を続ける事ができる人はもっといるはず

認知症が生み出す問題

は、すでに発症している方だけの問題ではなく、我々も含めて全ての人の問題です。その問題を解決するには全ての人が「認知症を正しく理解し、かわり方を学ぶ」必要があります。地域で暮らす全ての人たちが学ぶ事で、お互いがお互いの初期の小さなシグナルに気付くことができ、認知症の進行を抑制する事ができる。みんなが安心して、住みなれた地域で住み続けられるのです。

このように「認知症を正しく理解し、かわり方を学ぶ」とは非常に社会性の強い事業であり、言わば情報インフラと言っても過言ではありません。介護現場で日々働かれている皆さま

にとって、認知症の理解は体と頭にしみついていることでしょう。しかし前述したように認知症の問題は、介護現場で働く皆さまだけの問題では無く、社会全体の問題です。日頃、介護にかかわりを持たない方々へ皆さまの経験を伝えて頂くことで、皆さまにとって今まで以上に有意義な人生になることでしょう。

自分が理解する事と、人に伝えると言う事は違った技術を必要とします。きらめき介護塾は、皆さまの日々介護現場で培った経験、知識と技術を広く地域社会に活かしていただけるように「伝えるを、伝える」について日々研究しています。